

会派代表質問

公明党

引問 真理子 議員



市民の皆様の安心・安全を守り  
住み続けたいまちづくりを目指して

問 結婚新生活支援事業の内容と周知について伺います。

答 子供を産み育てる若者を市内に呼び込む移住・定住と少子化対策の一環として、結婚を機に本市に居住する一定の要件を満たす夫婦に対し

住居費や引っ越し費用などの新生活のスタートに支出した費用の最大30万円を補助金として交付する事業でございます。

対象となる要件は夫婦共に39歳以下であることや、夫婦の合計所得が貸与型奨学金の返済を除き400万円未満であることのほか、夫婦の新居が市内にあることなどを要件とし、広報紙や市ホームページへの掲載、市民課窓口で結婚の手続に

来られた方へPRチラシを配布、不動産会社にPRチラシを送付し周知を図ったところでございます。

問 男性の個室トイレにもサニタリーボックスの設置は必要かと思いますが、市の見解を伺います。

答 設置する動きが一部自治体や、商業施設に広がっています。これは

尿漏れパッドの捨て場に困る前立腺がんや膀胱がんの患者らの悩みに応える形であり、設置に向けた対応がますます求められていくものと認識しており、こうした配慮が必要だと考えますので本庁舎などの多くの方が利用する公共施設について大ききや案内表示等も考慮の上、設置に向けて鋭意取り組んでまいります。

問 市の浸水想定区域に立地する保育所や幼稚園の件数、避難確保計画の作成について伺います。

答 令和元年に千葉県により浸水想定区域の見直しによる浸水想定区域の拡大に伴い、千葉県より提供された施設データを基に対象施設を抽出すると、幼保施設はこれまでの3施設

設を含む10施設が対象となります。今後、新たに対象となる7施設を地域防災計画へ位置づけるとともに、避難確保計画の作成等について関係課と連携しながら施設管理者に働きかけてまいります。

問 災害時、障がい者に特化したマニュアルや防災ハンドブックの作成について市の見解を伺います。

答 身体、知的、精神など様々な障がい者からの意見や先進事例等を参考に地域の障がい者福祉に関する協議を目的に設置、運営されている山武圏域自立支援協議会などの関係機関と連携の上、調査研究等してまいります。

問 認知症サポーター「ステップアップ講座」について伺います。

答 今年度から、認知症サポーター養成講座で学んだことを土台に実践の場で、必要となる認知症に関する知識、認知症の方と身近に交流し、必要に応じて手助けするための対応スキル等を習得する認知症サポーターステップアップ講座の開催を計画しております。

受講した認知症サポーターを中心とする支援チームをつくり認知症の方やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組みとして、チームオレンジを地域ごとに構築し、地域における支援の輪を広げていきたいと考えております。

生活支援体制整備事業については高齢者の困り事を支援するための、多様な主体による支援体制を整備して、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを進める事業で、隣近所を含めた身近な地域での支え合い活動を推進し、協議しているところと

答 市内の感染状況ですが、千葉県が公表している市町村別感染者状況累計感染者数は2857人であり、自宅療養者8人、ホテル療養者3人との状況です。次に、感染者数の推移は、1月から5月までを申し上げますと、1月340人、2月780人、3月751人、4月350人、5月167人との状況です。

関連質問



秋葉好美 議員

問 コロナ対策について

本市のコロナ感染者の推移と状況について伺います。

答 市内の感染状況ですが、千葉県が公表している市町村別感染者状況累計感染者数は2857人であり、自宅療養者8人、ホテル療養者3人との状況です。次に、感染者数の推移は、1月から5月までを申し上げますと、1月340人、2月780人、3月751人、4月350人、5月167人との状況です。

問 次に3回目の接種状況と、市全体の接種率、年代別の接種率について伺います。

答 6月7日現在における市全体の接種率は65.6%であり、年代別に60歳以上85.9%、50代71.6%、40代58.1%、30代51%、20代46.6%、10代32.5%との状況です。

問 次に5歳から11歳の小児の接種について伺います。対象者数、接種会場、接種方法及び接種状況についてお聞かせ下さい。

答 接種については、保護者同伴の上、4月2日から保健文化センターにおいて集団接種を実施しています。ワクチンは小児用ファイザー社製です。対象者は2452人に対して1

回目は593人が接種され接種率24.2%、2回目は535人で接種率21.8%の状況です。今後、新しく5歳になられた方も接種できるよう、集団接種の機会を設けてまいります。

問 次に白里海岸の環境保全について、自然保護のウミガメやハマヒルガオについて伺います。

答 本市の主要な観光資源である白里海岸が千葉県立自然公園に指定されており、同公園条例を遵守し自然保護に取り組んでいます。

関連質問



上代和利 議員

問 第6次総合計画における高台整備の計画と北今泉地域の避難施設整備について

答 津波避難施設整備の重要性を認識しているが、厳しい財政状況を考慮すると、早期の高台整備は困難と考えられ、当面は円滑な避難確保のため、北今泉北避難路の整備として、蓄電池LED誘導灯の整備を実施しています。

問 東金九十九里有料道路に一時避難場所設置について

答 東金九十九里有料道路は、津波避難における一時避難場所として活用有効であると考えられますが、避難者の安全性の確保等の課題はありますが、法面などを活用した避難施設設置の可能性について、関係市町と連携し関係機関と協議してまいります。

問 大網白里市の魅力アップの予算の計上とプロモーションについて

答 令和4年度の観光プロモーション事業に係る予算は、総額271万1千円となっております。主な内容としては、県内の道の駅に設置するフリーペーパーへの記事掲載、市の観光パンフレットの印刷、雑誌、SNSへの広告掲載となっております。事業実施にあたっては、市の魅力を効果的に発信するため、紙媒体とインターネットを利用した情報発信を組み合わせるなど、効果的な観光情報発信に努めています。

問 令和4年度のイベント開催について

答 イベント開催については、市の魅力を発信する有効な方法の一つとして考えています。今後、県の感染拡大防止に係るガイドライン等を参考に内容を検討し関係団体と連携してイベント開催にむけた取り組みを進めていきます。

個人質問

砂浜の消失、  
洋上風力発電と冠水対策

堀本孝雄 議員



問 千葉県知事の本市視察の内容はどうだったのか。

答 5月16日に本市への視察が行われ、白里海岸をはじめ国道128号、大網駅周辺の小中川などを視察した。白里海岸においては海岸浸食の現状をご確認いただいたところでございます。本市の場合、南九十九里沿岸の自治体のなかでは、浸食の影響は比較的に抑えられているものの、それでも

年々被害は深刻さを増しており、早急な対策が必要となっております。今回の視察に当たっては、このような現状を把握に目にしていただき、浸食対策計画に基づき、効果的かつ速やかな対策を講じていただくようお願いいたしました。

問 地球温暖化による海面上昇により、過去70年間に既に120kmの本の国土が浸食により失われ、今後30cmの海面上昇により、過去70年間に相当する面積の砂浜が消失すると言われております。浸食対策計画の早期着手と併せて、通年観光につながる優れた観光資源を持つ海岸にしていきたくいものです。次に九十九里浜沖の洋上風力発電についてお尋ねしたい。

答 4月27日に九十九里浜沖を事業導入の可能性のある「有望な区域」の候補として千葉県から国に対して情報提供がされたところと

意が得られた九十九里町、山武市、横芝光町の3市町沿岸の沖合、10kmの海域となった。本市の沖合については、小型機船底引き網漁及び巻き網漁の操業頻度が高く、操業による影響が大きいことと、区域外となったと伺っている。

問 側溝の土砂堆積の除去について市はどのように考えているか。

答 道路側溝については、側溝に土砂等が堆積することにより、大雨時において道路上に雨水や排水が溢れる原因となり、排水機能を維持する為、清掃等の維持管理が重要となります。市道側溝については、市全体の管理延長が膨大であり、全てを市で行うことは不可能なことから、これまで住民の方や地元地区の皆様方に協力をお願いしてきたところで

す。市としても、今後も側溝清掃を行っていただける地区に対しては、土のう袋の支給や側溝の蓋開け器具の貸出と土のう袋の回収を行ってまいります。

他に幹線道路の冠水対策の進捗状況と現在行われている地籍調査の状況を質問いたしました。

